

一里塚

60周年記念号

2026年 10月

電電戸塚団地自治会

横浜市戸塚区平戸5-29-5

☎ 821-6466

自治会結成60周年を迎えて

会長 蓬田 司
よもぎだ

電電戸塚団地自治会は結成60周年を迎えました。私は17代目の会長を拝命している15班の蓬田です。よろしくお願いいたします。

ご尽力・ご支援の賜物です。深く感謝を申し上げます。

当自治会は1967年に当時の日本電信電話公社の電気通信共済会が現在の平戸5丁目で第一戸塚団地として開発・分譲した171区画の中で、先に居住した世帯数53・7つの班で発足しました。2年後の1969年には第二戸塚団地の478区画が、現在の平戸4丁目まで拡大していきます。私自身も電電公社職員の父と共に一家で4丁目に転居して来てから50年以上が経過しました。学生時代は保土ヶ谷駅までバス通学でしたが国道一号線の渋滞で苦労した思い出があります。



1970年 第二戸塚団地が分譲開始された頃の電電戸塚団地

の自治会は周辺の分譲住宅地の加入も続き、1162世帯39班と地域有数の規模に成長しました。これも歴代の役員・会員の皆さまの

この度の一里塚60周年記念号(205号)では自治会の60年の歩みを年表と写真・貴重な資料と共に届けます。最初に分譲地の開発から60年が経過し、当初から居住している会員が徐々に減少しています。比較的新しく加入された会員も含めて、この機会に私たちの自治会の成り立ちを振り返っていただけたら幸いです。

歴代の役員・会員の努力で築かれた現在の環境は、自治会所有の会館をはじめ、332機のLED防犯灯、消火栓47ヶ所、防犯カメラ8台等々、社会的なインフラが充実した住宅地となっています。

一方で2020年に始まったコロナ禍では会員・役員の安全対策を最優先し多くの活動を自粛せざるを得ませんでした。その後は社会情勢を踏まえて徐々に活動を再構築し、現在は時代の変化に合わせた自治会活動を目指して「安全・安心で住みよい街づくり」に取り組んでいます。

最近では地域の世代交代が進んでおり、また新たに加入する会員も増えていきます。この地に住む会員の皆さまに、子どもから年配者まで、住みよい環境だと実感していただき、親から子へ、子から孫へと住み続けたいと思える街づくりを目指します。

私たち自治会役員は多くの仲間を支えられ日々活動に取り組んでいます。会員の皆さまからの変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

尚、本号の発行に当たっては元会長の加藤羊子氏、16班の筒井博氏、平戸地区連合町内会長の相澤辰信氏および多くの方々から貴重な資料・写真等の提供をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

治会60年の歩み



1972年 電電戸塚団地上空から
写真提供：相澤辰信氏



1972年の平戸地区 (左下は東戸塚駅の建設予定地)
写真提供：相澤辰信氏

西 暦	和 暦	月	主 な 出 来 事	会員世帯数	班数	代	会長 (敬称略)
1967年	昭和42年	3月	自治会結成	53	7	1	富田繁一
1968年	昭和43年	7月	郵便番号制度実施 (参考)	98	10	2	生田 努
		8月	平戸中公園公開				
1969年	昭和44年	5月	東名高速道路全線開通 (参考)	157	//	3	小池 潔
1970年	昭和45年	3月	日本万国博覧会、大阪千里で開催 (参考)	171	//	4	広内茂孝
1971年	昭和46年	6月	日米両政府が沖縄返還協定に調印	316	20	5	金子銀四郎
1972年	昭和47年	4月	平戸小学校開校	550	32	6	園延愛助
		6月	平戸第一公園公開				
1973年	昭和48年		丸長産業社宅が自治会加入	730	33	//	//
		9月	自治会館竣工				
		10月	平戸第二公園公開				
1974年	昭和49年		みどり会 (電電老人クラブ) 結成	850	//	//	//
		6月	一里塚公園公開				
1975年	昭和50年	10月	なかよし文庫 (バス文庫) 子ども会の運営で開設 電電スヌーピー発足	869	//	7	松田正一
1976年	昭和51年	4月	なかよし文庫 (バス文庫) 自治会図書委員会で運営	//	//	//	//
1977年	昭和52年	5月	県営平戸住宅建設に伴うテレビ共同受信施設組合結成	883	//	8	松井栄之助
		10月	平戸第三公園公開				
1978年	昭和53年	4月	自治会館増設工事完了	900	//	9	藤本憲一
1979年	昭和54年	12月	自治会自主防災対策要綱制定		//	//	//
1980年	昭和55年	4月	可搬式消防ポンプ設置	//	//	//	//
		6月	みどり会が東日本ゲートボール大会で優勝				
		10月	JR東戸塚駅開業				
1981年	昭和56年	6月	なかよし文庫蔵書1797冊に	//	//	//	//
1982年	昭和57年	7月	住居表示制導入 平戸町→平戸	982	//	//	//
1983年	昭和58年	9月	巡回バス (神奈中) 運行計画、反対が3割近くで中止	//	//	//	//
1984年	昭和59年	6月	平戸方面校 (中学校) 敷地造成工事開始	//	//	//	//
1985年	昭和60年	10月	理事制とブロック制の新設 会計監査選任方法の改定	955	//	//	//
1986年	昭和61年	4月	平戸中学校開校	//	//	10	丸茂正巳
		11月	戸塚区分区 消防団第2班発足				
1987年	昭和62年	4月	「自治会だより」から「一里塚」へ		//	//	//
1988年	昭和63年	4月	川上地区が4地区に分割され、平戸地区に所属	989	//	11	星野繁夫
1989年	平成元年	10月	東戸塚地区センター開館	//	//	12	小森谷春雄
1990年	平成2年	10月	第3回平戸地区大運動会で優勝		//	//	//
1991年	平成3年	4月	雲仙普賢岳災害義援金22万5990円	1,007	//	//	//
1992年	平成4年	4月	公園愛護会結成	//	//	13	上段三郎
		10月	会報100号発行				
1993年	平成5年		「ハゲ山」造成工事開始	//	//	//	//
1994年	平成6年	1月	ニューシティ東戸塚建設工事に伴う「テレビ共同受信施設管理組合」設立	1,031	//	//	//
1995年	平成7年	4月	阪神大震災義援金45万1506円	//	//	//	//
1996年	平成8年	7月	消防自動車の寄贈を受ける	//	//	//	//
		10月	平戸地区大運動会で3年連続優勝				
1997年	平成9年	9月	電電ボランティアの会発足	1,060	//	//	//
		12月	消防車庫完成				
1998年	平成10年	3月	環状2号線開通	//	34	//	//
		9月	34班新設 自治会の法人登記が完了				

電電戸塚団地自



1980年東戸塚駅開業当時

写真提供：相澤辰信氏



1979年 東戸塚駅建設予定地

写真提供：大塚紀美雄氏

西 暦	和 暦	月	主 な 出 来 事	会員世帯数	班数	代	会長(敬称略)
1998年	平成10年	9月 12月	自治会館用地、共済会の無償贈与が決定し登記手続完了 自治会館改修工事完了	1,060	34	13	上段三郎
1999年	平成11年	10月	福寿歩道橋開通	1,080	//	//	//
2000年	平成12年	10月	14班の再編と37班の新設 連合大運動会で総合優勝と市長杯	//	37	//	//
2001年	平成13年		豪雨対策として地域内の道路に「雨水浸透柵」の工事が始まる	//	//	//	//
2002年	平成14年	3月	38班の新設	//	38	//	//
2003年	平成15年	7月	平戸町の町内会がホタルの里事業計画を作成	1,150	//	//	//
2004年	平成16年	11月	防犯パトロール開始	//	//	//	//
2005年	平成17年	11月	横浜環境行動賞を受賞	//	//	//	//
2006年	平成18年	3月 6月	第二公園西側入口に車イス用スロープを設置 上段会長が永年貢献で市長表彰	//	//	//	//
2007年	平成19年	4月	自治会館建替えを総会承認	//	//	//	//
2008年	平成20年	8月 10月	災害時要援護者支援(YS)活動スタート 戸塚署管内初の「青色回転灯搭載車」で防犯パトロール	//	//	14	加藤羊子
2009年	平成21年	3月	自治会館落成式 「災害時要支援者体制づくり」区モデル事業発表会へ	//	//	//	//
2010年	平成22年	3月	防犯功労賞、県警より表彰	//	//	//	//
2011年	平成23年	7月	地上波アナログ放送終了に伴いテレビ共同受信施設組合を解散	//	//	//	//
2012年	平成24年	6月 10月 11月	会員家族カード整備で平均世帯人数が2.94人に ごみ集積場所早朝ウォークラリーを実施 自治会掲示板を亚克力板引き戸式に更改	1,163	39	//	//
2013年	平成25年	9月	関東大震災から90年、自助・共助の輪を訴え	//	//	//	//
2014年	平成26年	9月	会員家族カード整備で一人世帯が147世帯に	//	//	//	//
2015年	平成27年	1月 9月	防犯灯のLED化完了 ボックス公衆電話を第二公園に設置	//	//	//	//
2016年	平成28年	4月	第50回総会、雨天で建替え後初の会館での開催	//	//	//	//
2017年	平成29年	3月 5月	加藤会長が永年貢献で市長表彰 自治会広報車(中古車)を購入、マイカーの青パト車登録を解除	1,180	//	//	//
2018年	平成30年	7月	戸塚土木事務所の指導で第二公園に「落ち葉ハウス」を新設	1,190	//	15	篠崎 臣
2019年	令和元年	2月	「納涼盆踊り大会」を第二公園グラウンドで2日間にわたり開催	//	//	//	//
2020年	令和2年	2月	横浜港にダイヤモンドプリンセス号が入港。世界規模でのコロナ禍へ 自治会行事の盆踊り大会・敬老の集い・防災拠点訓練等が中止に	//	//	//	//
2021年	令和3年	7月 12月	東京オリンピック2020がコロナ禍の影響で1年遅れで開催される 地域防犯カメラ1号機を旧八木澤精肉店前に設置	//	//	16	北爪靖彦
2022年	令和4年	4月 11月	第1回 夏祭りを自治会と子ども会が中心となり感染対策の上で開催 自治会費を減額(普通世帯月額400円・アパート単身世帯200円) 3年ぶりに平戸小学校地域防災拠点訓練を感染対策の上で再開	//	//	//	//
2023年	令和5年	3月 4月 5月	消防自動車が行政補助で更新 会員データベースを整備し、今までの会員家族カードを電子化へ 新型コロナの感染法上の位置づけが5類へ移行し収束へ向かう	//	//	17	蓬田 司
2024年	令和6年	4月	1974年設立の「みどり会(電電老人クラブ)」が惜しまれつつ解散 補助金を活用して自治会館のエアコンを省エネ型に更新	1,186	//	//	//
2025年	令和7年	1月 4月	戸塚土木事務所で平戸第二公園の遊具と樹木を大規模更新 広報紙「一里塚 第200号」を発行	1,162	//	//	//
2026年	令和8年	4月	補助金を活用して自治会館2階テラスに防犯カメラ2台を設置 電電戸塚団地自治会 創立60周年 記念事業への取組み 自治会ホームページを開設	//	//	//	//

電電戸塚団地の成り立ち

私たちの電電戸塚団地の始まりは1965年

(昭和40年)に当時の日本電信電話公社(略称:電電公社)の電気通信共

済会が職員向けの住宅団

地を開発・分譲したこと

で誕生しました。当時は

戸塚区平戸町字谷宿谷等

と呼ばれていた農地・山

林・国有地等が開発され

ました。開発に先駆けて

宅地転用の地目変更や国

有地買収の為の所轄官庁

との折衝、工事の認可を

受ける為の横浜市当局と

の交渉で苦労したとの記録が残っています。横浜市

の宅地造成規制法に基づ

いた工事は、区画毎の石垣組みや舗装道路の下に水道・ガス・下水道や雨水

排水管や消火栓まで設置されました。その後は道路を横浜市の公道とするこ

とで住民のインフラへの維持・管理負担をなくしました。

その後、民間事業者による平戸4丁目・5丁目の開発・分譲が続

き、多くの世帯が電電戸塚団地自治会に

加わってくださいました。

今後ますます地域住民の為に環

境の維持・改善に努め、会員の皆さ

まにとつて「安全・安心で住みよい

街づくり」に取り組みます。



共済会ニュース1965年11月号(部分)

自治会館の物語

初代の自治会館は自治会結成から6年後の1973年9月に竣工しました。当時の日本電信電話公社出身の北澤通正氏と清水武氏が興された北沢

建設(株)により平屋建て(延床面積

59.62㎡)で完成し、当時の図面名

は電電戸塚団地青少年会館でした。

5年後の1978年に2階部分の増

築工事が完了し延床135.81㎡の規模

に拡大しました。当時は自宅の新築

工事を北沢建設(株)に依頼した職員も

多かったそうです。

一方で会館の敷地(226.81㎡)は当

初は分譲地を開発した財団法人電気

通信共済会の所有地でしたが、当自

治会が1998年に認可地縁団体と

して法人格を取得したことで無償譲

渡され、自治会名義となった経緯が

あります。

現在の2代目の自治会館(鉄骨

合金メッキ鋼板吹き2階建・延床

171.79㎡)は2009年に初代と同

じ北沢建設(株)により竣工しました。

建設費は、行政の補助金・会員の

積立金に金融機関からの借入で賄っ

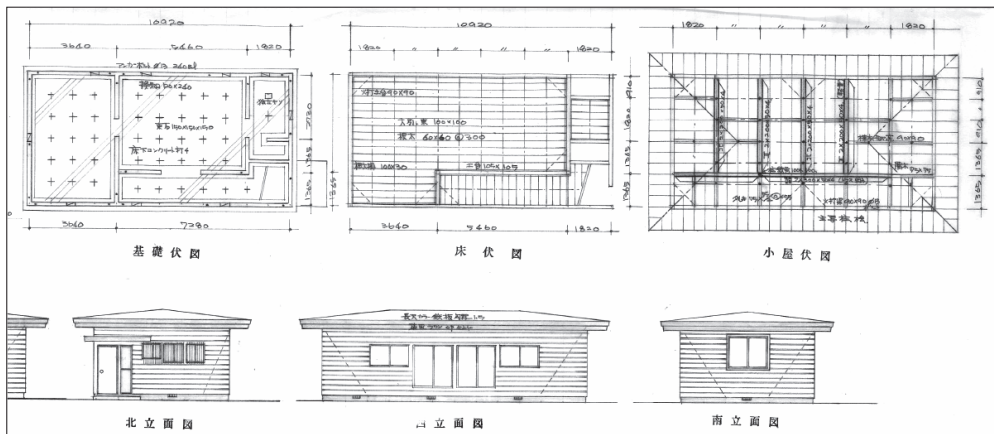
た自治会名義の建物です。歴代の役

員と会員の皆さまのご尽力で現在に

至っています。

尚、本稿の執筆には北沢建設(株)か

ら提供された貴重な資料・図面を参考にしています。深く感謝いたします。



1973年竣工の初代自治会館の設計図面 (提供: 北沢建設株式会社)

自治会活動での想い出

顧問
佐田 衛

電電自治会は1998年9月に「地縁による団体」として法人格を取得している。取得条件は「地域内の多くの住民が会員」になっている事。だから、自治会は日々を暮らす生活者としての人々の集まりであって、皆が同じ意見で集結したということではない。

元々「地縁による団体」という法人格制度が出来た目的は自治会や町内会に集会施設と敷地の所有の権利を認めることであつた。けれど、私には「自治会地域内の住人の多くが会員であること」という条件こそが意味あるものと思われる。自治会のキャッチフレーズである「安全・安心で住みよい街」は地域の全住民が必要とするものなのだから。

その自治会での私の活動経験の中

では一度目の理事の時代の2001〜2004年の安全・安心の為のパトロール開始と横浜市のG30（ごみゼロ）運動が印象に強い。パトロールは今も続いている。G30は焼却ゴミ削減の為の再利用可能ゴミの分別細分化であるが現在のSDGsにも繋がる画期的な施策であつた。理事二度目の2020年にコロナを経験した。皆さん同様に役員も大きな制約を受ける中で行事関係はすべて中止したが難題が第54回総会。結局、集会方式ではなく書面方式になるのだが、開票作業量の多さに法人格の条件の「地域住人の多くが会員」であるということを再認識した。

私は二回の理事経験の中で時代の大きな動きに立ち会うことが出来た。コロナで自治会行事は白紙に戻ったが、その後時間の経過と共に必要なものは形を変えて復活している。自治会はこれからも安全・安心をベースに社会の要請と連動し、時代と共に変化しながら活動を続ける事になると思う。



2008年 戸塚警察署管内初の青色パトロール出発式

住みよい街へ、支える思い 30年

電電ボランティアの会 代表 堀内 潔

会員の皆さん、自治会発足60年おめでとうございます。お蔭さまで電電ボランティアの会も発足30周年を迎えました。1997年に民生委員を中心に住民へのお手伝いの必要性を強く認識し介助部を立ち上げてスタート。当初はボランティア会員の入会時の抛出金（1000円／1人）が活動の原資で、次年度からは自治会から助成金が支給されました。以降、サロン部↓送迎部↓草取り部↓小修繕部と活動の幅を広げてきました。他地区のボランティア団体に「電電は5部構成で、ボランティア会員数53名、延べ活動人数は年間1020名」と自己紹介すると感嘆と尊敬の眼差しを感じます。この活動を次の世代に引き継ぐべく、昨年は全世帯へアンケートと新規募集のチラシを配付しました。新規会員7名、新規利用者7名の応募がありました。意見・要望も寄せられ、継続した活動の必要性を強く認識しました。昨年度は戸塚区役所高齢障害支援課の事業の「みまもりネット」研修を受講し事業協力団体として登録、また会内で寄付を募り電子ピアノを購入しサロン部の活動の幅を上げました。現在の課題は送迎部員の減少で、来年は定年など5名が退会します。このままでは利用の申し出を断らざるを得ない状況ですのでドライバー協力を募集しています。昨年お配りしたチラシの連絡先までご一報ください。ボランティアの会会員一同、皆さまのお役に立つべく活動してまいります。健康長寿の為に、ボランティア活動も有効と言われています。皆さまのご協力を何とぞよろしくお願いいたします。



電電ボランティアの会のメンバーたち

電電消防団は第二班の発足から40年

班 長 32班 岩 浪 司

私たちは戸塚消防団第三分団第二班(通称…電電消防団)は1986年に発足し40年が経過しました。「一緒に守ろう、自分の街」を合言葉に地域の防災活動に取り組んでいます。自治会主催の放水訓練や心肺蘇生法訓練、平戸小学校での地域防災拠点訓練等も支援させていただいています。

現在、消防団では現役12名とOB組織の電消会8名で活動しており、新しい仲間も募集しています。18歳以上の方なら入団が可能です。消防活動を通じて、応急手当や消火要領など役立つスキルも身につきます!興味のある方は是非消防団までお声掛け下さい。



電電消防団

電電子ども会は設立53年を迎えます

会 長 7班 宮田 千恵

自治会60周年という節目を迎え、これまで子どもたちを温かく見守り活動を支えてくださった地域の皆様により感謝申し上げます。

子ども会には現在109名の子どもたちが加入しており、世話人12名で運営しています。毎年、夏祭りや焼き芋の大会を行っています。夏祭りでは地域の皆様と一緒に楽しい時間を過ごし、焼き芋の大会では焼きたてのお芋を囲みながら、子どもたちの楽しそうな声が響きます。どちらも、子どもたちが毎年楽しみにしている大切な行事です。

時代が変わっても、子どもたちが地域の方々と触れ合う時間は、大切な思い出として心に残っていくことでしょう。これからも、子どもたちの笑顔があふれ、地域の中で健やかに成長していることを願っています。



子ども会世話人一同

要援護者支援活動は17年目を迎えました

事務局 前 垣 和 正

2007年度に横浜市が募集した災害時における要援護者の支援活動のモデル事業に電電戸塚団地自治会は戸塚区より指定され、2008年から活動を開始しました。

自治会内には大規模災害発生時に一人での避難が困難な要援護者がいます。発災時には事前登録された支援者が援護をする仕組みです。私たちは略称…YS委員会を設置して活動に取り組んでいます。現在には要援護者35名を101名の支援者で見守っています。来年度は新たな要援護者と支援者を募集の予定です。活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



2008年 YS活動 支援者説明会

電電スノーピー少年野球部は発足51年

代 表 12班 小 林 克 行

私たちは地域の学童で活動する歴史と伝統ある少年軟式野球チームです。自治会の結成から間もなく発足しました。現在は選手25名に監督・コーチ32名で活動しています。野球を通して児童・父母・指導者相互の親睦と心身の健全なる発達を図り、併せて地域社会の発展に協力しています。野球技術だけでなくスポーツマン精神・フェアプレイ・礼儀を重んじ、友情・思いやりを指導の要としているチームです。主役はあくまで子ども、教えさせて頂くとの基本理念で日々活動しています。新入部員も大募集中です!皆さまの応援よろしくお願いします。



電電スノーピー少年野球部メンバー

編集後記

顧問 和田憲雄

今年は60周年記念事業プロジェクトを立ち上げて各種の事業に取り組んでいます。本号の発行もその一環です。自治会60年間の歴史をご一読頂ければ幸いです。

実は本号には自治会の第14代会長を10年間務められた2班の加藤羊子氏のインタビュー記事を掲載予定でしたが、ご都合が合わずに中止となりました。残念でなりません。

ホームページ
はこちらから



役員会議題、回覧・掲示板、一里塚、行事・会議予定、自治会案内図、理事・幹事一覧などの最新版をご覧ください。

事務局 東 貴彦